

QoreStor[®]

クラウドに接続されたセカンダリストレージ、重複除外、およびレプリケーション

データの急激な増加に伴って、バックアップは途方もなく時間がかかるようになり、ストレージのコストも上昇しています。そして、データの回復を阻止する目的でバックアップを攻撃対象とする継続的なサイバー攻撃やランサムウェアに対処しなければなりません。クラウドに接続されたIT環境を実現し、データ保護戦略を支えるにはどうすればよいでしょうか。

その方法をご紹介します。Quest[®] QoreStor[®]は、バックアップパフォーマンスを加速させ、オンプレミスとクラウドストレージ要件およびコストを大きく削減し、バックアップ、アーカイブ、ディザスタリカバリーに適したクラウドストレージを利用できるようにするソフトウェア定義のセカンダリ・ストレージ・プラットフォームです。

QoreStorは、オンプレミスとクラウドの両方のバックアップデータを保護することでランサムウェアやサイバー犯罪への対抗を支援し、復元可能性を保証しま

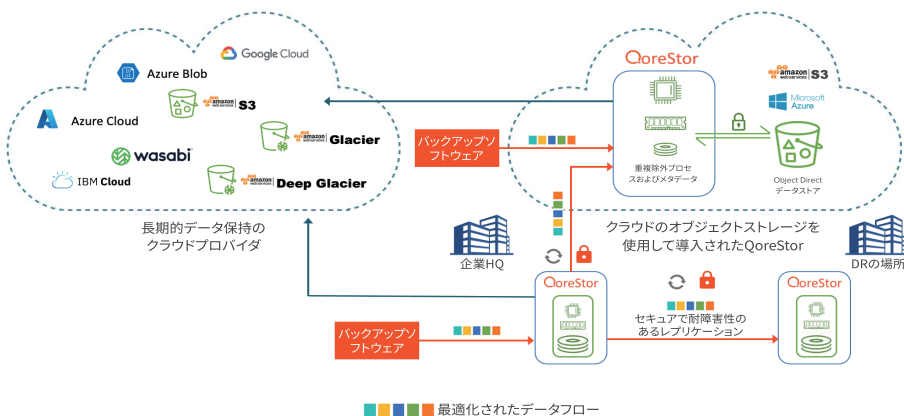
す。バックアップデータの不変性、S3ベースのデータワークフローのオブジェクトのロックおよびバージョン管理、変更不可能なバックアップごみ箱を提供します。最大限の保護のために、QoreStorは、バックアップデータの重複除外、圧縮、暗号化によりこれらをすべて一步前に進めます。すべてのデータが最適化されて隠蔽され、変更不可になります。

ほとんどのストレージハードウェア、仮想化プラットフォーム、またはクラウド・サービス・プロバイダを活用できるので、コストを大きく削減し、ITのROIを最大限に高めます。また、QoreStorはほとんどの一般的なバックアップ・ソフトウェア・ソリューションをサポートするため、既存のソフトウェアの再構成や再配置は必要ありません。導入が簡単で管理も容易なQoreStorにより、レプリケーション所要時間の短縮、データセキュリティの改善、そしてコンプライアンス要件への対応が可能となります。

QoreStorは透明性の高いストレージを提供します。クラウドへの高速接続、バックアップパフォーマンスの高速化、ストレージの必要量とコストの削減、およびクラウドからの即座の復元を可能にし、RTOやRPOの改善に役立ちます。

メリット:

- オンプレミスおよびクラウド・サービス・バックアップ・ストレージのコストを大きく削減。
- オンプレミスとクラウドの両方における変更不可能なバックアップ、オブジェクトのロックおよびバージョン管理によるランサムウェアからの保護の強化。
- 独自のプロトコルアクセラレーターおよび重複排除によるバックアップの高速化。
- ディザスタリカバリー用にデータをオンプレミスまたは他のクラウドサービスに複製。
- 変更されたデータのみを送信することにより、レプリケーション所要時間を短縮。
- データセキュリティを改善し、FIPS 140-2に準拠。
- 既存のデータ保護テクノロジーを活用。
- オールインクルーシブのライセンスでTCOを削減。
- QoreStorはAzureおよびAWS Marketplaceで入手可能。



システム要件

オペレーティングシステム

RedHat Enterprise Linux*

Oracle Linux**

Rocky Linux*

Alma Linux*

バージョンに関する詳細については、『QoreStor Interoperability Page (QoreStor相互運用性ページ)』を参照してください。

* xfsファイルシステムが必要です。

** OracleのUnbreakable Kernelはサポートしていません。

サポート対象クライアント

QoreStorは、ほぼすべてのバックアップベンダーで動作します。バージョンに関する詳細については、『QoreStor Interoperability Page (QoreStor相互運用性ページ)』を参照してください。

ストレージ

QoreStorサーバには、安定性および堅牢性を備えたストレージインフラストラクチャ、およびローカルに接続されたファイルシステム (SANまたはDirect Attach Storage) が必要です。

サポート対象プラットフォーム

以下に主な例を挙げます。

クラウドプロバイダ:
Microsoft Azure、Amazon Web Services (AWS)、Wasabi、IBM Cloud、Google Cloud、Backblaze

仮想化: VMware、Hyper-V、VirtualBox、KVM

特長

- **変更不可能なバックアップストレージ** — QoreStorに書き込まれたデータは変更不可能であり、必要な保持設定外で上書き、変更、または削除ができないため、ランサムウェア攻撃から保護されます。サポートされているバックアップソリューションについては、『QoreStor相互運用性ガイド』を参照してください。
- **データごみ箱** — 削除されたデータのコピーをQoreStorデータごみ箱に指定した期間保持することで、ランサムウェア攻撃からの保護に役立ちます。サポートされているバックアップソリューションについては、『QoreStor Interoperability Guide (QoreStor相互運用性ガイド)』を参照してください。
- **オブジェクトのロック** — バックアップデータを保護するために、S3ベースのデータワークフローのオブジェクトのロックおよびバージョン管理を行います。
- **Cloud Tier** — ポリシーに準拠したシームレスなクラウド拡張機能により、データをクラウドストレージから迅速かつ簡単に移動および復元します。NetVaultなどRDAベースのバックアップでは、ランサムウェアからの保護のためにオブジェクトのロックを使用することもできます。QoreStor Cloud Tierにより、2つの異なるクラウド階層ベンダーをQoreStorの1つのインスタンスで設定することができます。この結果、データセットごとに異なるクラウドベンダーを選択することも、1つのクラウドベンダーから別のベンダーへの移行に役立てることもできます。
- **Performance Tier** — 高速なストレージグループにより、重複除外の品質を犠牲にすることなく迅速に復元します。
- **Archive Tier** — バックアップデータをAWS GlacierやAzure Archiveなどの低コストな「コールド」クラウド・サービス・ストレージに送信することで、長期データ保持のニーズに対応します。
- **Object Direct** — 主なバックアップデータのレポジトリとして低コストなオブジェクトストレージ (オンプレミスおよびクラウドサービス) を使用できるようにすることで、バックアップストレージのコストを削減します。
- **ハードウェアおよびソフトウェアに依存しないプラットフォーム** — どのようなストレージハードウェア、バックアップソフトウェア、仮想化プラットフォーム、クラウド・サービス・プロバイダであっても対応し、コストの削減、IT環境のシンプル化、ROIの最大化を可能にします。
- **次世代ストレージの重複除外エンジン** — バックアップストレージの必要量を平均20:1まで削減し、エンタープライズクラスの可変ブロック重複除外を利用します。
- **Secure Connectテクノロジー採用の内蔵プロトコルアクセラレーター** — データ取り込みを最大20 TB/時まで高速化し、ますます短縮化されるバックアップウィンドウに対応します。頻繁に切断される低

品質のリンクにおいても、完全なバックアップを保証します。

- **ディザスタリカバリのためのリモートレプリケーション** — 固有のデータのみをリモートサイトにレプリケーションすることで、レプリケーションウィンドウを10~15回、必要なネットワーク帯域幅を85%削減し、レプリケーションの総所要時間を短縮します。
- **クラウドサービスへのバックアップ** — WANでクラウドサービスに直接バックアップしますが、変更のみが送信されるソース側での重複除外により、LANと同等の速度になります。WANを経由する場合でも、オンプレミス導入において一般的な目標リカバリポイント (RPO) を達成します。
- **ターゲットに直接バックアップ** — メディアサーバをバイパスし、ターゲットのストレージデバイスに直接バックアップします。
- **データセキュリティ** — Encryption at Rest、Secure Erase、FIPS 140-2準拠の機能が組み込まれており、負荷の高いセキュリティ要件に対応します。暗号化には、業界標準の256ビットAdvanced Encryption Standard (AES) キーを使用します。
- **クラス最高レベルのデータ整合性** — データの検証とファイルシステムのヘルスチェックを実施することで、潜在的なストレージ故障に対処し、回復可能性を確実なものにします。
- **データテナンシーおよびロールベースのアクセス** — 複数のストレージグループ (およびストレージグループ内にコンテンツ) を容易に作成し、それぞれに独立したストレージポリシーやキャパシティを定義できます。高度なユーザーロールにより、細部にわたる制御が可能です。
- **QorePortal** — デバイスを選ばず、どこからでも単一のコンソールですべてのQoreStorインスタンスを管理するため、QoreStorの使用、管理、メンテナンスを簡単に行うことができます。
- **Continuous Data Protection (CDP)** — VMware仮想マシンの増分保護を継続的に行い、重複除外ストレージから直接、即座にリカバリすることでリカバリ時間とストレージコストを最小限に抑えるQuest® NetVault® Continuous Data Protection (CDP) の革新的技術を実現します。
- **即座の復元** — QoreStorレポジトリから重複除外VMイメージスナップショットを直接マウントすることにより、NetVaultの即座のリカバリ (VMware VM用) を可能にします。

QUESTについて

Questはますます複雑になるIT環境において、新たなテクノロジーのメリットを実現にするソフトウェアソリューションを提供します。データベースとシステムの管理からActive DirectoryとOffice 365の管理、そしてサイバー・セキュリティ・レジリエンスまで、Questは次のIT課題を今すぐ解決できるよう、お客様をサポートします。Quest Softwareは今「次」に備えます。

Quest
quest.com/jp
世界各地のオフィスの情報については、(quest.com/jp-ja/locations) をご覧ください。

Quest、QoreStor、NetVaultおよびQuestのロゴは、Quest Software Inc.の商標および登録商標です。Questの商標の一覧については、www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspxをご覧ください。その他すべての商標は各所有者に帰属します。

© 2023 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

DataSheet-QoreStor-US-JY-JA-WL-78355

Quest